平成30年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

			持定分野評価										
事業名数	育振興教材	購入事業費(小	学校・中学校分を合算する。)										
担当課	教育約		課長名	亀井	敏男								
	事業の目的と実施内容 教育環境や学習内容の充実を図るため、教育振興教材を購入し、教職員 等が活用することにより、児童生徒に対する学習効果向上を目的とする。												
各点 【小 内容・方法 童報 【中	各小中学校からの要望や学習指導要領等に沿った備品等の購入 【小学校】教育振興教材(マグネット黒板・糸のこ盤等)・楽器(オルガン・グロッケン等)・新入学児童教材(お道具箱・文房具) 【中学校】教育振興教材(プロジェクター・包丁まな板殺菌庫等)運動用品(ハードル・バレーボール支柱カバー等)・新入学生徒教材(絵の具セット)												
自己	改善	一次	改善	二次	_								
今後の方向性	生に係る意見	等(最終)	評価結果を	踏まえた所管語	裸の対応案								
事業実施の必要性学校ごとの公平性め、管理・活用状況備している備品等の算配分ができるよう	の確保や必要記を掌握すると の見直しを行	性の精査のた ともに、現在整 う等、適切な予	教材や備品等の購入要望に際して、現有数の把握、利用状況等を確認し、備品の必要性の精査と学校毎の備品保有の公平性を図っていきたい。										
		町の最	終方針										
改善教材や備品等の購入要望に際して、現有数の把握、利用状況等を確認し、備品の必要性の精査と学校毎の備品保有の公平性を図る。													
			するための具体										
項目名	Z I												
		時期(期限)	7 111	的な改善等の									
小中学校の備品 [・] び電子データ化		時期(期限 <i>)</i> H31.3	具体 購入した時期が古いも おらず紙ベースで管理 一覧性を高める。	のなどは備品台帳が	電子データ化されて								
	台帳整理及	2002 000202	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理 一覧性を高める。	のなどは備品台帳がいる。電子デー	電子データ化されて タ化することによって								
び電子データ化 備品購入及び更	台帳整理及 新基準の策	H31.3	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理 一覧性を高める。 学校数の多い他市町	のなどは備品台帳が されている。電子デー 村に備品の管理の方流 策定に活かす。 品要望に基準を設ける	電子データ化されて タ化することによって ま等を調査し、本町で								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更	台帳整理及 新基準の策 新基準の策	H31.3 H31.5	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準各小中学校からの備品	のなどは備品台帳が されている。電子デー 村に備品の管理の方流 策定に活かす。 品要望に基準を設ける い要望をなくす。 がに通知することによっ	電子データ化されて タ化することによって ま等を調査し、本町で ことによって、重複すって、平成32年度当								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更定 備品購入及び更	台帳整理及 新基準の策 新基準の策	H31.3 H31.5 H31.6	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準 各小中学校からの備品る要望や必要性の低い 次年度予算要望より前	のなどは備品台帳が されている。電子デー 村に備品の管理の方流 策定に活かす。 品要望に基準を設ける い要望をなくす。 がに通知することによっ	電子データ化されて タ化することによって ま等を調査し、本町で ことによって、重複すって、平成32年度当								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更定 備品購入及び更	台帳整理及 新基準の策 新基準の策 新基準の通	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準 各小中学校からの備品る要望や必要性の低い 次年度予算要望より前	のなどは備品台帳が されている。電子デー 村に備品の管理の方流 策定に活かす。 品要望に基準を設ける い要望をなくす。 がに通知することによっ 生が図られた要望にし	電子データ化されて タ化することによって ま等を調査し、本町で ことによって、重複すって、平成32年度当								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更定 備品購入及び更	台帳整理及 新基準の策 新基準の策 新基準の通 3	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準 各小中学校からの備はる要望や必要性の低い 次年度予算要望より前	のなどは備品台帳が されている。電子デー 村に備品の管理の方流 策定に活かす。 品要望に基準を設ける い要望をなくす。 がに通知することによっ 生が図られた要望にし	電子データ化されて タ化することによって ま等を調査し、本町で ことによって、重複すって、平成32年度当								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更定 備品購入及び更知 情品購入及び更知 がままる おままる はままる かんしゅう はいます かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう はいます かんしゅう かんしゅう はいます かんしゅう はいます かんしゅう はいます かんしゅう はいます かんしゅう はいます かんしゅう はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	台帳整理及新基準の策新基準の通る称と同一とからによった結果	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7 改善後の事業 単位 %	購入した時期が古いもおらず紙で管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準各小中学校からの備品を要望や必要性の低い次年度予算要望より前初予算要望から公平位をできるが、また。	のなどは備品台帳が付されている。電子デー村に備品の管理の方流 意策定に活かす。 品要望に基準を設けるい要望をなくす。 が回題知することによったが図られた要望にして	電子データ化されて タ化することによって 法等を調査し、本町で ことによって、重複す って、平成32年度当 ていきたい。 H31								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更定 備品購入及び更加 指標のを ※原則として評価を ※原則として ※収益を ※収益を ※収益を ※収益を ※収益を ※収益を ※収益を ※収益を	台帳整理及新基準の策新基準の通る称と同一ンケート結果	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7 改善後の事業 単位 9% 教育振興教材がより。 ケート結果に「学習してする児童の割合が増え	購入した時期が古いもおらず紙を高める。 学校数の多い他市町できる部分を基準各小中学校からの備らる要望や必要性の低い次年度予算要望より前を要望から公平がある。 が目標とする成果をできるがは、できたりできたり、できたりできると考えられるため。	のなどは備品台帳が付されている。電子デー村に備品の管理の方流 意策定に活かす。 高要望に基準を設けるい要望をなくす。 が正通知することによったが図られた要望にした。 生が図られた要望にして	電子データ化されて タ化することによって 法等を調査し、本町で ことによって、重複す って、平成32年度当 ていきたい。 H31 95.0 の実感としてアン								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更端品購入及び更端 備品購入及び更	台帳整理及新基準の策新基準の通る称と同一ンケート結果	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7 改善後の事業 単位 9% 教育振興教材がより。 ケート結果に「学習してする児童の割合が増え	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準各小中学校からの備品を要望や必要性の低い次年度予算要望から公平性が多くできるが多くできるが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、ないかったり、できたりでも、できたりでは、できたりでは、できたりでも、できたりでも、できたりでも、できたりでは、できたりでは、できたりでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	のなどは備品台帳が付されている。電子デー村に備品の管理の方流 意策定に活かす。 高要望に基準を設けるい要望をなくす。 が正通知することによったが図られた要望にした。 生が図られた要望にして	電子データ化されて タ化することによって 法等を調査し、本町で ことによって、重複す って、平成32年度当 ていきたい。 H31 95.0 の実感としてアン								
び電子データ化 備品購入及び更 備品購入及び更 備品購入及び更 備品購入及び更 が	台帳整理及新基準の策新基準の通る称時と同一と記した。 おいっこう はいっこう はいまり はいっこう はいままします はいままします はいっこう はいままします はいままり はいまり はい	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7 改善後の事業 単位 % 教育振興教材がよりよ ケート結果に「学っていまする児童の割合が増生 4 経費等	購入した時期が古いもおらず紙を高める。 学校数の多い他市町できる部分を基準各小中学校からの備らる要望や必要性の低い次年度予算要望より前を要望から公平がある。 が目標とする成果をできるがは、できたりできたり、できたりできると考えられるため。	のなどは備品台帳が付されている。電子デー村に備品の管理の方流 意策定に活かす。 高要望に基準を設けるい要望をなくす。 が正通知することによったが図られた要望にした。 生が図られた要望にして	電子データ化されて タ化することによって 法等を調査し、本町で ことによって、重複す って、平成32年度当 ていきたい。 H31 95.0 の実感としてアン								
び電子データ化 備品購入及び更定に向けた調査 備品購入及び更端品購入及び更端 備品購入及び更	台帳整理及新基準の策新基準の通る称時と同一と記した。 おいっこう はいっこう はいまり はいっこう はいままします はいままします はいっこう はいままします はいままり はいまり はい	H31.3 H31.5 H31.6 H31.7 改善後の事業 単位 9% 教育振興教材がより。 ケート結果に「学習してする児童の割合が増え	購入した時期が古いもおらず紙ベースで管理一覧性を高める。 学校数の多い他市町で参考できる部分を基準各小中学校からの備品のの事業をある。 本の事業を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	のなどは備品台帳が見されている。電子デードに備品の管理の方法 漢定に活かす。 品要望に基準を設けるい要望をなくす。 が回知することによったが図られた要望にして 生が図られた要望にして 学習効果が高まる。そずることが増えるのはが	電子データ化されて タ化することによって 法等を調査し、本町で ことによって、重複す って、平成32年度当 ていきたい。 H31 95.0 の実感としてアン 喜しい。」という回答を								

5 改善等工程表 項目名																								
頃日名 (2 町の最終方針を実施するための具体的な方法と一致)	平成30年度			 平成31年度 											平成32年度									
工程名	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
小中学校の備品台帳整理及び電子データ化																								
各小中学校への電子データ化依頼																								
提出されたデータの取りまとめ																								
 備品購入及び更新基準の策定に向けた調査	:																							
他市町村調査																								
調査結果の取りまとめ																								
 備品購入及び更新基準の策定																								
基準の策定																								
		_																						
 備品購入及び更新基準の通知																								
策定された基準の通知																								
		<u> </u>																						